

# 東濃社会教育だより **Plus** — 研修会 —

岐阜県恵那県事務所  
振興防災課 振興防災係  
社会教育担当:丹羽 達也  
〒509-7203  
恵那市長島町正家後田 1067-71  
TEL:0573-26-1111 内線 208

## 東濃地区社会教育振興協議会研修会を開催しました

8月18日（金）、恵那文化センターにて、「令和5年度東濃地区社会教育振興協議会研修会（振興大会）」を開催しました。毎年8月中旬に開催するこの研修会は、東濃5市の社会教育関係者が一堂に会して、実践発表や意見交流を通して、地域を創る地域社会人の育成に係る情報交流の機会としています。



<社会教育委員・公民館職員の表彰>

今年度はテーマを「学びの機会の充実と地域社会の活性化に向けて」とし、3つの実践発表を行いました。また今年度は3年に1度の振興大会を兼ねた研修会として、参加者の皆さんに発言いただく時間を2回設けて、活発な意見交流をしていただき、大変実りある研修会となりました。本会の内容について感想とともに紹介します。

### <実践発表1> 「社会教育委員の役割と課題」

土岐市社会教育委員の会 委員長 戸松 健治 氏  
土岐市教育委員会生涯学習課課長補佐 河合 哲仁 氏

・地域の教育力の向上を目指し、地域づくりに子どもたちを中心とする考え方は、これからを担う若者たちの経験の場として素晴らしいと感じた。地域の発展はもちろん、子どもたち自身が経験を  
得て将来的に役立つような機会作りを提供できるよう努めていきたい。



<あいさつデーの様子>

・社会教育委員さんの思いの「この町に生まれてよかった！ と思える子どもづくりを」に大変共感を得ました。自分自身、生まれ故郷を離れた身ですが、子どもの頃に学んだ地域を忘れず大切にしている子供たちを育てたいと思います。

### <実践発表2> 「明智小学校学校運営協議会への取り組み」

恵那市明智コミュニティセンター 三学塾塾長 塩田 肇 氏  
恵那市明智コミュニティセンター 主事 伊藤 妙子 氏  
恵那市教育委員会生涯学習課 社会教育指導員 三宅 勝義 氏

・子どもの読書離れは学校でも課題であると感じています。公民館での図書室の利用推進はとても素晴らしいと思いました。自分たちで育てた花を卒業式に使うという学校の伝統に、地域の人達に関われる仕組みがうまく回っていて素晴らしいと思います。



<入学式 新入生への  
サプライズイベント>

・コミュニティセンターが生涯学習や学校運営協議会への参加等を通して、地域活動の中心として行政と地域振興とを連携させる役割を果たしていることは素晴らしいと思いました。

### <実践発表3> 「地域と学校の協働活動について」

恵那市立東野小学校 校長 岩井 裕美 氏

恵那市東野地域学校協働活動 推進員 丸山 文憲 氏

恵那市教育委員会生涯学習課 課長補佐 伊東 将昭 氏



- ・地域住民の協力あってこそその活動、大変羨ましいです。また、  
指導者の後継者育成にも力を入れられているとのこと、是非とも参考にしたいと思います。  
<地域の方とさつま芋の植え付け>
- ・東野地区の伝統や宝を通して子ども達の心の成長を軸に進められていることに感動しました。
- ・行政、地域、学校、それぞれの立場から活動を評価できていることが素晴らしい。本当に学校のために地域が力を発揮し、地域のために学校が動いている実態がよくわかった。校長先生のお話も聞きやすかったです。大変参考になった。

### <指導講評> 岐阜県環境生活政策課企画監 安藤由美子氏

(○学ぶ点 ◇さらに伸ばしたい点)

#### (1) 土岐市社会教育委員の会について

○「この町に生まれてよかったと思える子どもづくりを」という目指す姿の明確化、共有化ができています。

○「動く社会教育委員である」として、あいさつデーの取り組み、どこへでも出かけ、豊富な人脈を存分に生かした取り組み。

○長期的、俯瞰的な視点を持ち“あるもの活かし”、“あるもの再生”がされている。

◇相手の意識を分析し、「活動でつながる」から「目指す姿でつながる」へ。

#### (2) 恵那市明智コミュニティセンターについて

○佐藤一斎や山本芳翠、センター長ではなく塾長と呼ぶこと等に、地域の宝への誇りが感じられる。地域学校協働活動において「先進ではなく先人に学ぶ」ことを大切にされている。

○塾長を学校運営協議会の会長兼地域学校協働活動推進員にされたことで、サプライズイベントや読書活動等の活動に機動力を生んでいる。

○「学校運営協議会だより」で願いを共有されている。地域が作成している。

◇願いに対する評価を行うことで、次に何をを目指すのかが明らかになってくるのではないかと。

#### (3) 恵那市東野地区の地域と学校の協働について

○学校・地域・行政の連携と役割分担ができています。持続可能な活動への第一歩。

○あるもの活かしの組織ができています。地域自治区を活用した本部設置。

○PDCAサイクルが機能している。三者（こども、学校、地域・行政）の立場で良さと課題を検証している。

◇量的には十分。次は質の向上に取り組むと同時に、地域にお願いできるものは任せてもよいのではないかと。

☆まとめ「地域が違うから同じようにはいかない」。だからみんなで話し合いながら何がベターなのか探っていくことに価値がある。参加者が意見をたっぷりといえる会の運営が素晴らしい。



<意見交流の様子>

< 令和5年度東濃地区社会教育振興協議会 >

事務局は恵那県事務所振興防災課及び恵那市に置いています。FAX 0573-25-7129

TEL 0573-26-1111 (内線208) Eメール [niwa-tatsuya@pref.gifu.lg.jp](mailto:niwa-tatsuya@pref.gifu.lg.jp)